

# ホームロック

< かがりシリーズ >

## 取扱説明書

お買い上げまことにありがとうございます。この製品のすばらしい性能と、その正しい使いかたをご理解いただくために、この《取扱説明書》を最後までよくお読みください。  
お読みになったあとは、保証書とともに必ず保存してください。

【共用機種 L023701/L023801/L024601】

### ● アフターサービスについて

- お買い上げの際、販売店でお渡りする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。(詳しくは保証書をご覧ください。)それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのプラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。  
・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- その他のアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の《お客様相談室》へお問い合わせください。

**ミシン119番 フリーダイヤル 0120-340-233**

- ◎ プラザーミシンの使い方やアフターサービスについて、ご不明の場合はお買い上げの販売店、またはミシン119番までお問い合わせください。
- ◎ ミシン119番ではミシンの使い方のご説明や、トラブルに対するご相談、修理の受付対応をさせていただきます。

### お客様相談室

本社お客様相談室 〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町15-1 TEL: (052)824-3125 FAX: (052)824-3031  
北海道お客様相談室 〒060-0063 札幌市中央区南三条西3-2-2 TEL: (011)261-6631 FAX: (052)824-3031  
東北お客様相談室 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-3-10 TEL: (022)227-8877 FAX: (052)824-3031  
東京お客様相談室 〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-8 TEL: (03)3281-4204 FAX: (052)824-3031  
中部お客様相談室 〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町15-1 TEL: (052)824-3193 FAX: (052)824-3031  
関西お客様相談室 〒550-0012 大阪市西区立売堀4-4-2 TEL: (06)6531-4670 FAX: (052)824-3031  
中四国お客様相談室 〒730-0021 広島市中区胡町4-28 TEL: (082)240-3762 FAX: (052)824-3031  
九州お客様相談室 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-3-12 TEL: (092)431-6566 FAX: (052)824-3031

- ◎ プラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の《お客様相談室》へご連絡ください。

受付時間：9:00～17:00

営業日：月曜日～金曜日（祝祭日、当社休日を除く）

- ※ 上記の電話・FAX番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

# 1 安全にお使いいただくために

このミシンを安全にお使いいただくために、以下の基本的なことがらを守ってください。

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。

## ⚠ 警告 — 感電の危険を防ぐために

- 以下のようなときは必ず電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
  - ・ ミシンのそばを離れるとき
  - ・ 運転中に停電したとき
  - ・ お手入れをするとき
  - ・ ミシンを使用した後
  - ・ ランプを交換するとき

## ⚠ 注意 — 火災、感電、傷害を防ぐために

- お子様の玩具として使用しないでください。お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは、安全に対し特に注意を払ってください。
- ミシンの換気用の穴をふさがないでください。  
ミシンの換気用の穴やフットコントローラーに糸くずやほこり、ゴミなどがたまらないようご注意ください。
- ミシンの内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込んだりしないでください。
- 分解しないでください。故障の原因になります。
- 落としたり、ぶつけたり強い衝撃を与えないでください。
- コーヒー、ジュース、水などをこぼさないでください。
- ぬれた手で操作しないでください。
- 屋外や、スプレー製品をご使用の部屋、または酸素を扱っている場所では使用しないでください。  
また、ストーブやアイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。  
使用温度は0℃～40℃です。
- 所定の電源電圧以外では、絶対に使用しないでください。
- 電源コードの接続には、延長コードの使用や他の電気製品とのたこ足配線をしないでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源ランプスイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張って抜くと破損するおそれがあります。
- ミシン操作中は、ミシン針、メス、プーリー、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
- 正規の部品以外をミシンに取り付けて使用しないでください。  
破損やケガの原因となるおそれがあります。
- 曲がったミシン針は使用しないでください。破損したり、切れなくなったりしたメスは使用しないでください。
- ぬう際には、まち針などが針やメスに当たらないように注意してください。針が折れたり、曲がったり、メスが破損するおそれがあります。
- 縫製中に布を引っ張ったり押したりしないでください。ミシン針の破損やケガの原因になります。

● ミシン針の周辺で以下のことをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・ 針穴系通し
- ・ ミシン針の交換
- ・ 上ルーパー・下ルーパーの系通し
- ・ 布押えの交換

● ミシンのカバー類を開けたり、注油、または取扱説明書に記載のある整備を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● ランプの交換は同じタイプの定格消費電力100V 12Wの電球をお使いください。

● 以下の場合は、ミシンの使用を速やかにやめて、お近くの販売店またはブラザーのサービスセンターにて検査、修理、または調整をお受けください。

- ・ 電源コードまたは電源プラグが破損したとき
- ・ 正常に作動しないとき
- ・ 落下などにより破損したとき
- ・ ミシンが濡れたとき

このミシンは日本国内向家庭用です。

This sewing machine cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

取扱説明書は大切に保管してください。

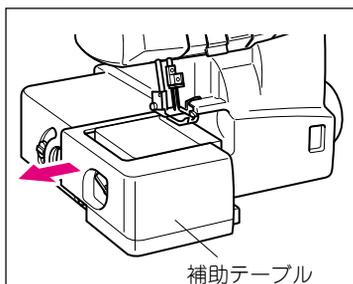
## 2 仕様

機種名	LO24601 2本針4本系	LO23801 1本針3本系	LO23701 1本針3本系
ぬい速度	毎分1300針		
送りピッチの長さ	R・2ミリ～4ミリ (標準3ミリ)		
差動送り比	0.7～2.0		×
布カット幅	標準5ミリ (5～7)	標準3.5ミリ (3.5～4.5)	
使用ミシン針	HLx5 11番、14番、16番 (HAx1 11番、14番、16番)		
使用糸本数	3本・4本	3本	
針棒ストローク	25ミリ		
布押え	自由押え		
布押え上昇量 (2段め)	5ミリ (6ミリ)		
ミシン質量	約6.5kg		約6.0kg
モーター定格	電圧100V 50/60Hz		

### ● フリーアームの使い方

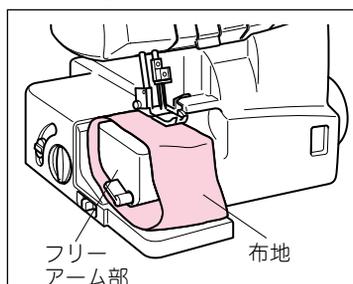
フリーアームは筒状の布を簡単にぬうものです。

#### 1. 補助テーブルのはずし方



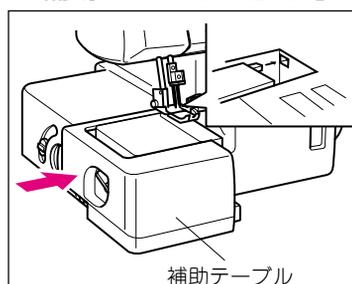
補助テーブルを左にずらしはずします。

#### 2. セットのしかた



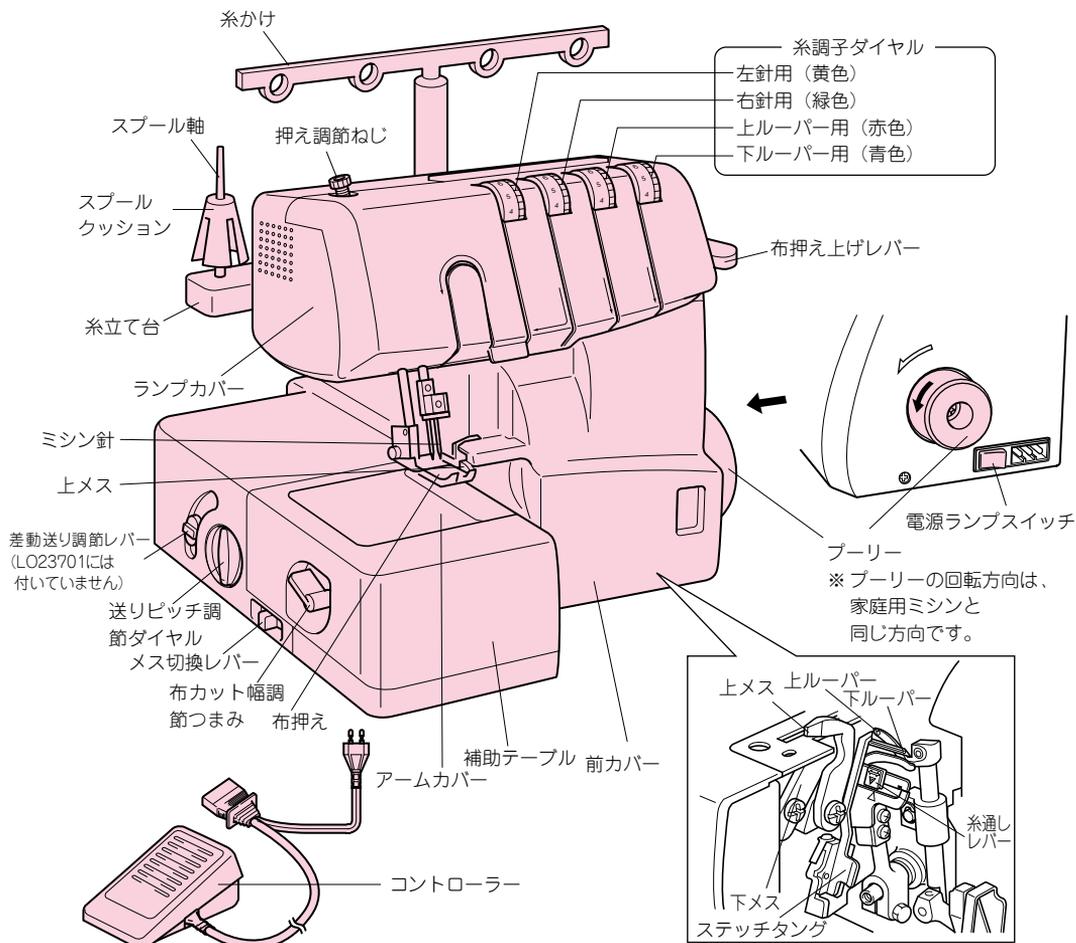
フリーアーム部に布をセットし縫製をします。  
※スポンのすそなおし等に便利です。

#### 3. 補助テーブルのはめ方

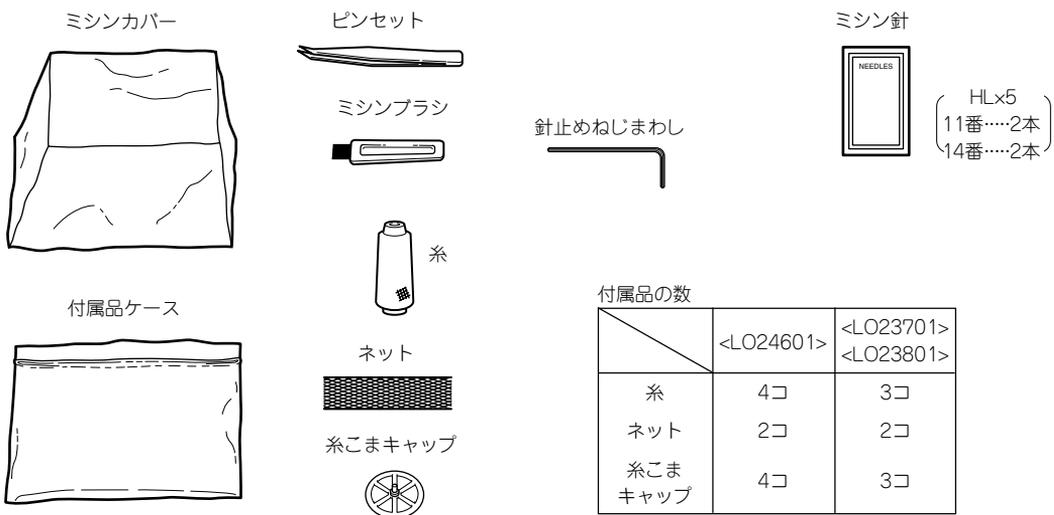


使用後、補助テーブルをミシンの穴(上図参照)に差し込むように取り付けてください。

### 3 各部のなまえ

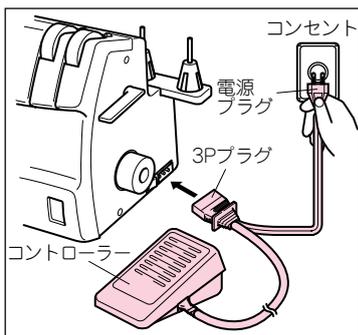


### ■付属品となまえ

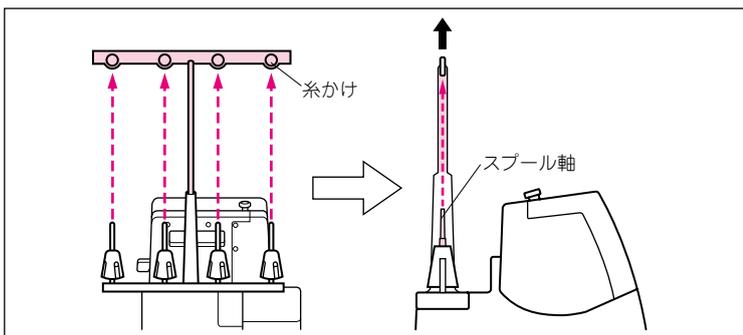


## 4 使用前の準備

### ●電源コード



### ●糸かけの位置決め

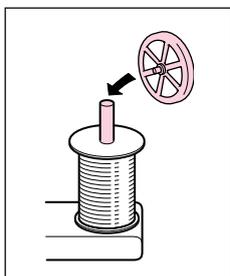


#### ▲注意

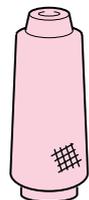
ミシンを使用しないときは、必ず電源ランプスイッチをOFFにするが、コンセントから電源プラグを抜いてください。

糸かけを伸ばし、糸かけがスプール軸の真上にくるように位置を決めます。

### ●糸こまキャップの取り付け方



チーズ巻き



こま巻き糸



このミシンはチーズ巻き糸と、こま巻き糸が使用できます。

※こま巻き糸は、糸巻きの糸止めみぞのあるほうを下にしてスプール軸にはめてください。

※チーズ巻きの時は、スプールクッションをご利用ください。

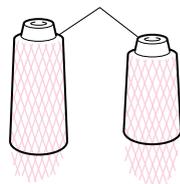
#### ▲注意

糸こま押えを奥までいっぱい押し込んでいないと、糸たて棒に糸がからまり、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

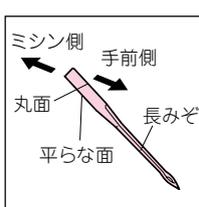
#### 【注記】

- ウーリーナイロン糸を使用するときや、糸が糸案内からはずれるときは、ネットを付けてお使いください。
- ネットは糸全部がかくれるものを使用してください。短いと糸調子ムラが発生します。

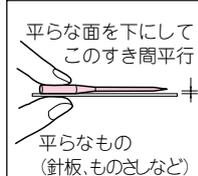
ネット上端と糸巻き上端を合わせます。



## 5 ミシン針の交換



正しいミシン針の調べ方

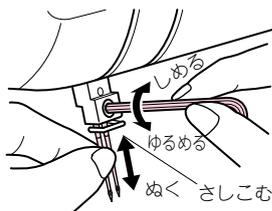


#### ▲注意

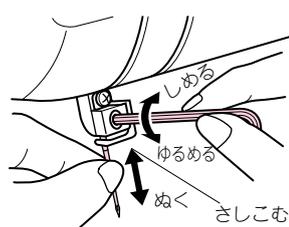
- ミシン針の交換は必ず電源を切ってから行ってください。
- 針は必ずミシン針 (HL×5) をご使用ください。

【注記】 針締めねじをゆるめるときは、ミシン針を落さないよう注意してください。

<LO24601の場合>



<LO23701, LO23801の場合>

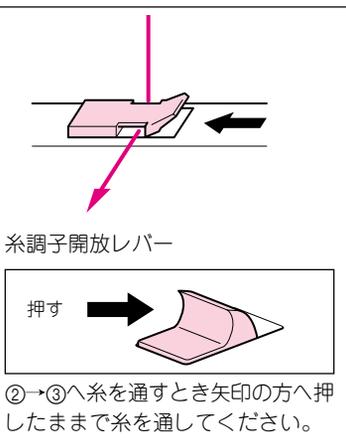
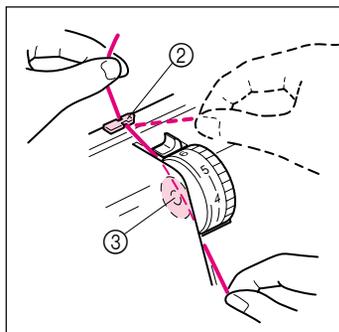
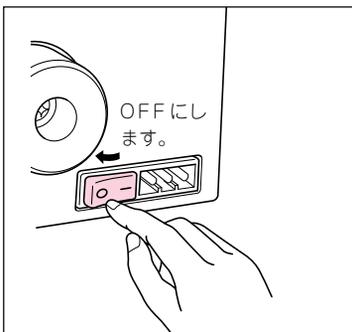


#### 注意

- 取りはずし方、取り付け方
- 1) プーリーを回しミシン針を最上位にします。
- 2) 針締めねじをゆるめてミシン針を取りはずします。
- 3) 針の平らな面を針棒に向けて、上方に完全につかえるまでミシン針を差し込み、付属の針止めねじまわしてねじを締め付けます。

# 6 糸の通し方

## 1. 糸を通す前に



**▲注意**  
安全のため電源ランプスイッチをOFFにします。

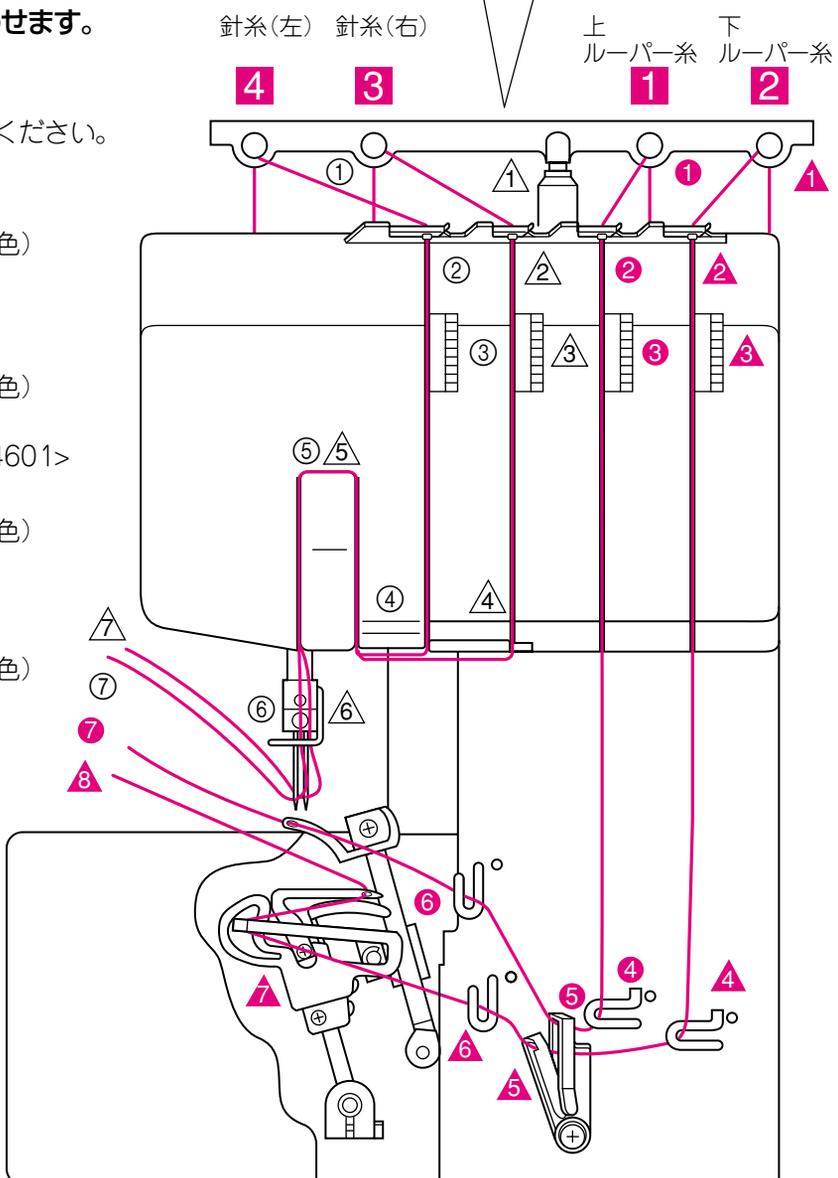
②→③へ糸を通すとき矢印の方へ押し続けたままで糸を通してください。

## 2. プーリーを手前に回してミシン針を一番上に合わせます。

## 3. 糸通しの順序

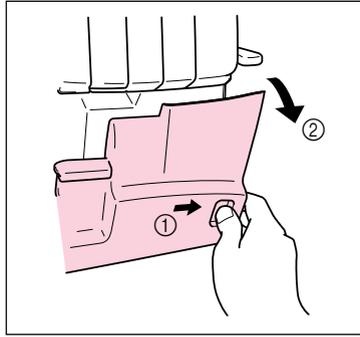
次の順に糸を通してください。

- 1** 上ルーパー糸  
① ~ ⑦  
(ダイヤル色: 赤色)
- ↓
- 2** 下ルーパー糸  
▲① ~ ▲⑧  
(ダイヤル色: 青色)
- ↓
- 3** 針糸(右) <LO24601>  
▲① ~ ▲②  
(ダイヤル色: 緑色)
- ↓
- 4** 針糸(左)  
① ~ ⑦  
(ダイヤル色: 黄色)

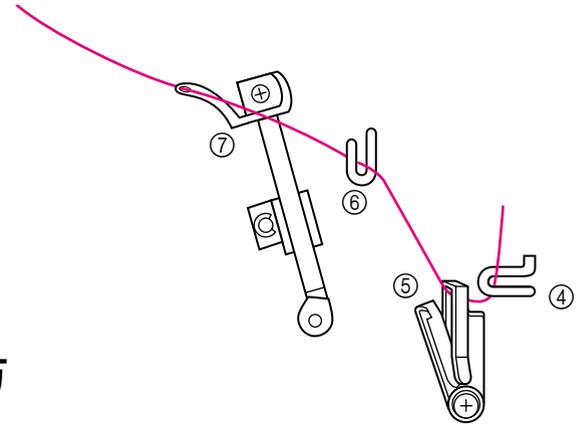


# 1 上ルーパー系の通し方

●糸を通す前に前カバーを開けます。



●番号順に糸を通します



# 2 下ルーパー系の通し方

●番号順に糸を通します

<p>(1) 下ルーパー 糸通しレバー</p> <p>糸通しレバーを右側に引き出します。</p>	<p>(2) 番号順に糸を通します。 下ルーパーに糸を通し、フックに糸をかけます。</p> <p>フック</p>
<p>(3) 糸の端を持ちながら糸通しレバーをもとの位置に戻します。</p> <p><b>注記</b> 糸通しレバーを戻すときは必ず青▼印を▲印の位置に合わせてください。</p>	<p>(4)</p>

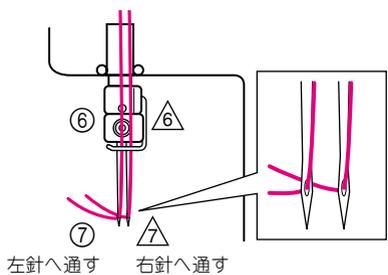
**注記** 下ルーパー糸を通し直したときは、必ず針糸を通し直すか、又は針板上面まで、針糸を引き出してください。

# 3 4 針糸の通し方

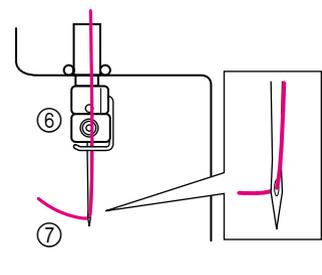
**注記** 必ず、下および上ルーパー糸を通してから行ってください。糸は約15cmほど引き出しておきます。

●番号順に糸を通します

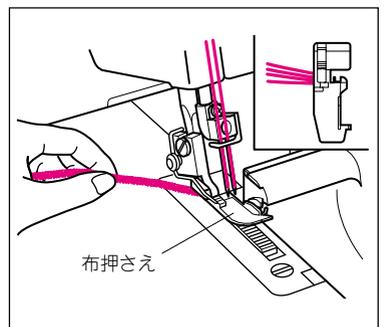
<L024601の場合>



<L023701, L023801の場合>

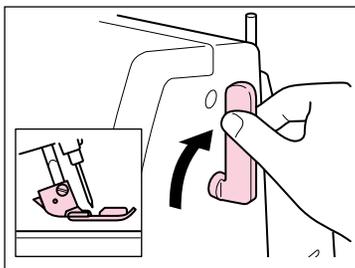


●糸のしまつ

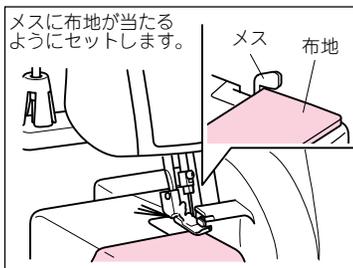


## 7 縁かがり (試しぬい)

### 1. 布押え上げレバーを上げます



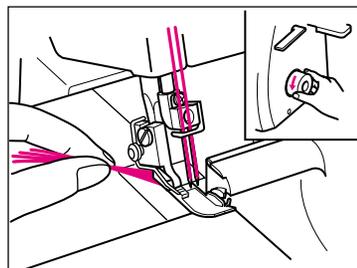
### 2. 試し布をセットします



布地をセットし布押えを下げます。

**注記**  
前カパーは閉じてください。

### 3. スタートします



左手で糸をつまみ右手でプーリーを手前側に2~3回ゆっくり回し、糸のからみぐあい確かめ、ゆっくりぬい始めます。

### ●糸調子ダイヤルの調節めやす

下記のようにダイヤル数値を合わせて試しぬいをしてください。

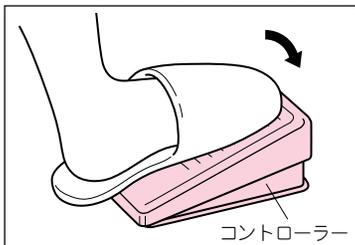
針糸	<LO24601の場合>		<LO23701, LO23801の場合>
	左	右	
上ルーパー糸	4	4	4
下ルーパー糸	4	4	4

**注記** 布地は自動的に送られますから、手は布地をぬいたいと思う方向に導くだけにしてください。布地を無理に引っ張らないでください。

### ▲注意

ぬい目がつまる場合は、ぬい目の長さを長くしてください。ぬい目がつまった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

### 4. コントローラーを踏みます

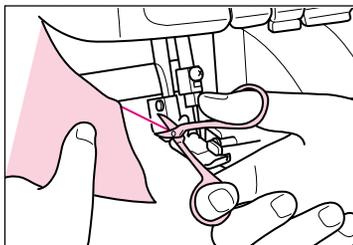


コントローラーは強く踏むほど速くなります。

### ▲注意

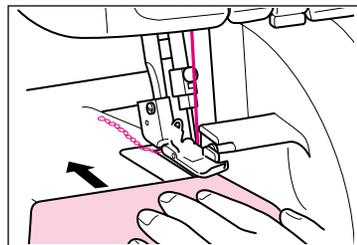
使用しない時はコントローラーの上に、ものをのせないでください。

### 5. ぬいものをはずすには



- ① 布地の端までぬい終わりましたら、布地のないままミシンを低速で運転します。
- ② 布地の端より約5cm糸を残して切ります。

### ●つづけてぬうには



布押えを上げずにそのまま次の布地をぬいます。

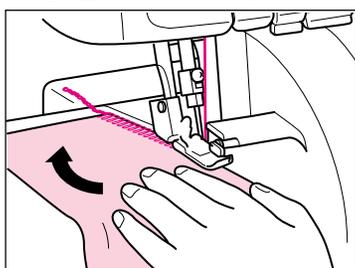
**注記** からぬいができているときは、布押えを上げる必要はありません。カラぬいとは…布地がない状態で糸だけでぬうことです。

厚物は5mmまでぬうことができます。段をぬうときは、手で軽く補助して布送りを助けながら、布地を倒した方向にぬいます。

**▲注意** 5mm以上の厚物をぬったり、無理に布地を押しこんだりすると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

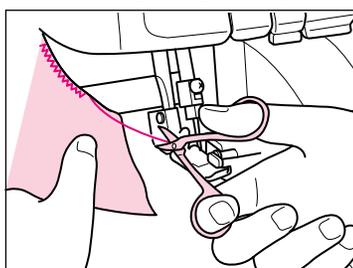
## 8 裁縫中に糸切れしたとき

### 1. 布地をはずします



そのままミシンを低速にし、布地を回して外側へ導き、布押えよりはずします。

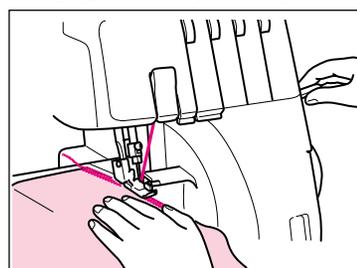
### 2. 残りの糸を切ります



糸切れした糸を通し直します。

**注記** 下または上ルーパー糸が切れた場合は、針糸をミシン針からはずし、切れた糸を通し直してください。

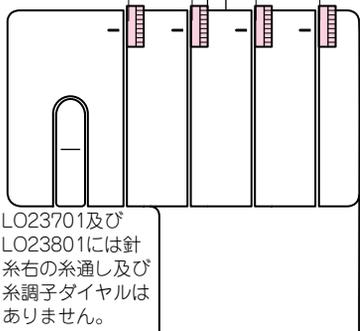
### 3. 布地をセットします



糸切れしたところより3cm~5cm前の部分を布押えにセットし、前にぬったぬい目の上からぬいます。

# 9 糸調子

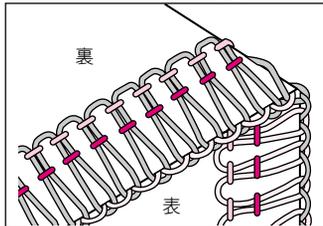
針糸左用(黄) 上ルーパー糸用(赤)  
針糸右用(緑) 下ルーパー糸用(青)



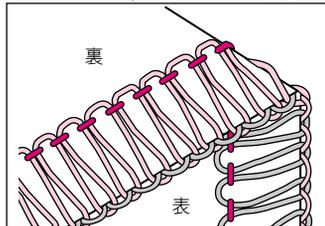
※ LO23701及び  
LO23801には針  
糸右の糸通し及び  
糸調子ダイヤルは  
ありません。

## ●正しい糸調子

4本糸  
〈LO24601の場合〉



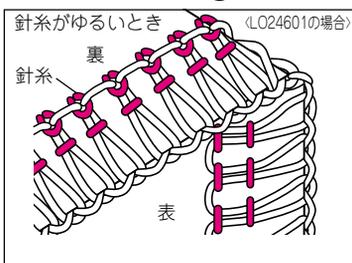
3本糸  
〈LO23701, LO23801の場合〉



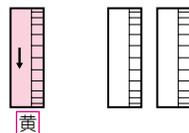
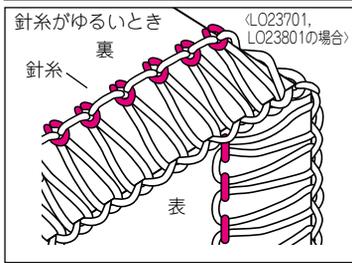
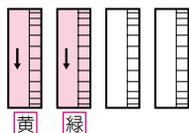
### 【注記】

- 糸調子は、布地の種類や糸の太さなどによって異なりますから、布地や糸に合った糸調子をとってください。
- 糸調子の手順は、最初に針糸から正しい糸調子に合わせてください。

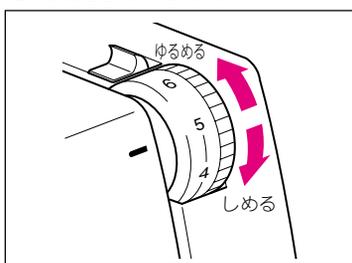
### 〈こんなときは①〉



針糸をしめてください。

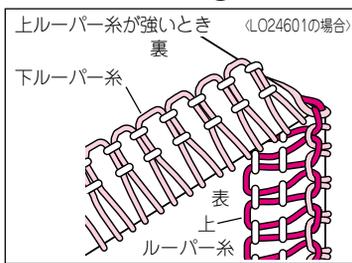


## ●糸調子ダイヤル

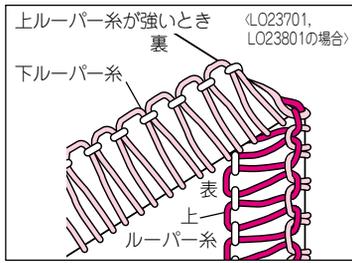
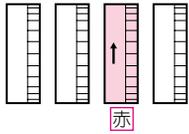


ゆるめる ... 表示数字を小さく(3~4)する  
標準 ..... 表示数字「4」  
しめる ..... 表示数字を大きく(5~9)する

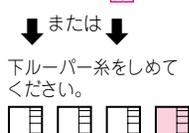
### 〈こんなときは②〉



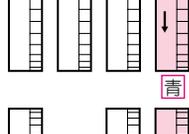
上ルーパー糸をゆるめてください。



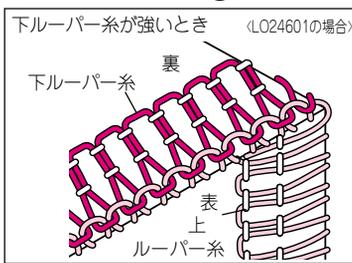
上ルーパー糸をゆるめてください。



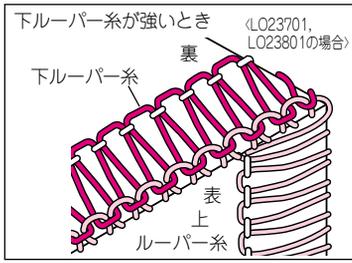
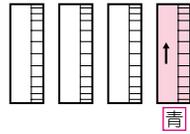
上ルーパー糸をゆるめます。  
それでも正しい糸調子がとれない場合は下ルーパー糸をしめてください。



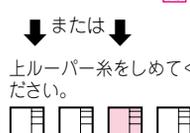
### 〈こんなときは③〉



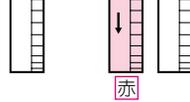
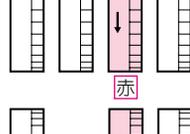
下ルーパー糸をゆるめてください。



下ルーパー糸をゆるめてください。

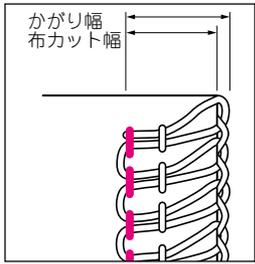


下ルーパー糸をゆるめます。  
それでも正しい糸調子がとれない場合は上ルーパー糸をしめてください。



# 10 布カット幅の調節

## ● かがり幅と布カット幅



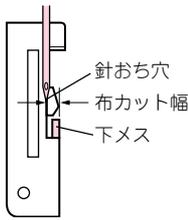
布カット幅は下記のように調節できます。

<LO23701, LO23801の場合>

3~4.5ミリ

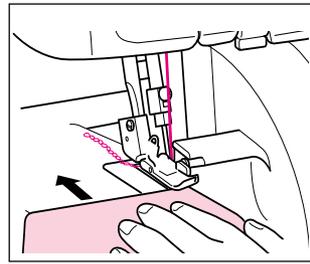
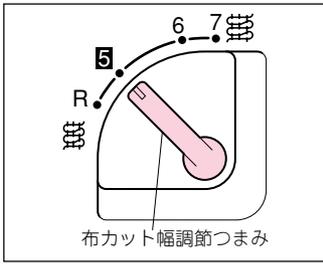
<LO24601の場合>

4.5~7ミリ



布カット幅調節つまみを上下に動かし布カット幅を調節します。

## 1. カット幅を調節します 2. 試しぬいをします

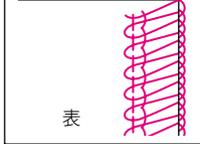


### ▲注意

上メスの刃部には絶対に指を触れないでください。ケガをするおそれがあります。

## ● こんなときは

かがり幅より布カット幅が狭い場合

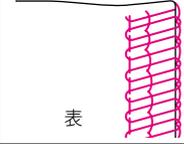


※調節後試しぬいをします。

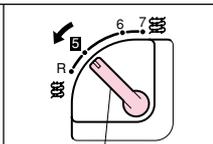


布カット幅調節つまみを上に上げ広くします。

かがり幅より布カット幅が広い場合

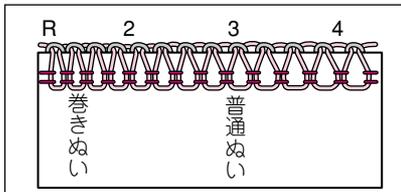
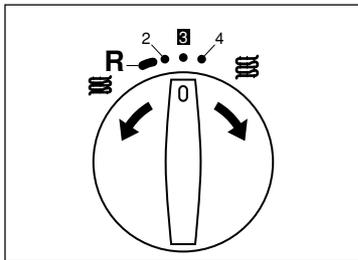


※調節後試しぬいをします。



布カット幅調節つまみを下に下げ狭くします。

# 11 送りピッチの調節



送りピッチ調節ダイヤルを動かして目的の送りピッチを選びます。

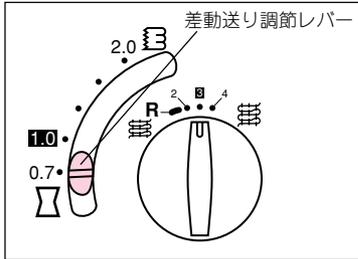
### 【注記】

送りピッチ調節の目盛は、例えば“4”は約4mmの送りピッチです。最小2mmから最大4mmまで調節できます。“R~2”の目盛は巻きぬい用です。

# 12 差動送りの調節

毛糸・編地・ニット・ジャージなど伸縮性のある布地をぬうときに差動送りを調節します。

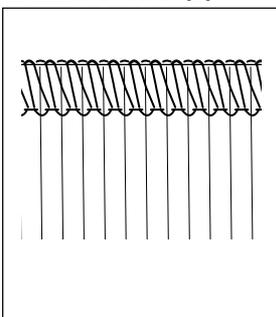
※この機構はLO23701にはついていません。



応用例	差動送りのはたらき	差動送り調節のめやす
薄地のパッカリング防止 ストレッチロック	布を伸ばしながら、ぬいます。	0.7
普通の縁かがりぬい	普通に、ぬいます。	1.0
伸縮性のある布地のぬい伸び防止	布を縮めながら、ぬいます。	2.0

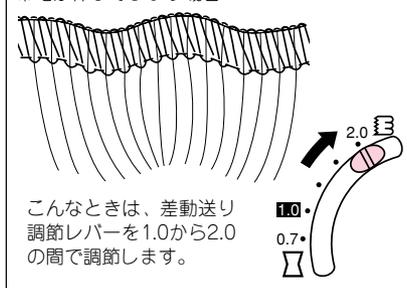
※数字以外のところでもご使用になれます。

## ● 正しいぬい目



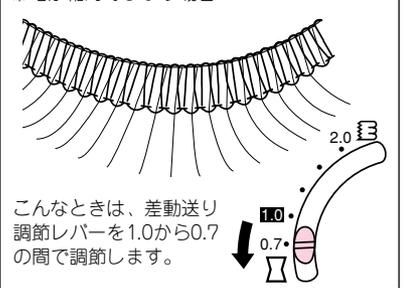
## ● こんなときには

布地が伸びてしまう場合



こんなときは、差動送り調節レバーを1.0から2.0の間で調節します。

布地が縮んでしまう場合



こんなときは、差動送り調節レバーを1.0から0.7の間で調節します。

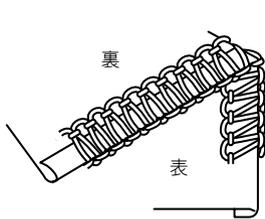
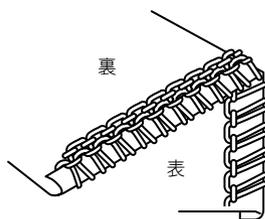
# 13 巻きぬい・細ロックぬい

## ●巻きぬいのぬい目

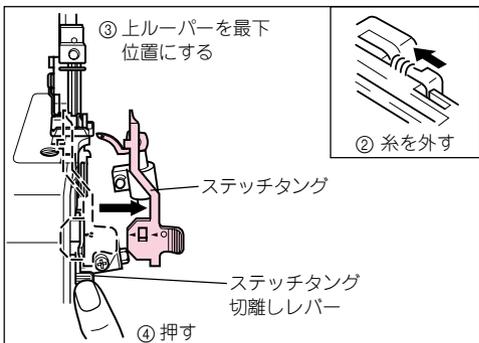
## ●細ロックのぬい目

**【注記】**

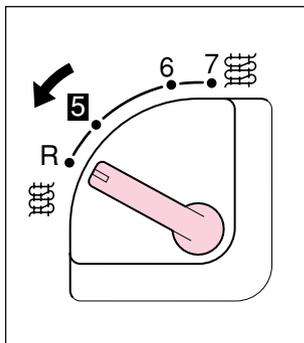
<L024601>をご利用の場合は、左針を外して1本針3本糸ぬいの状態にセットしてください。



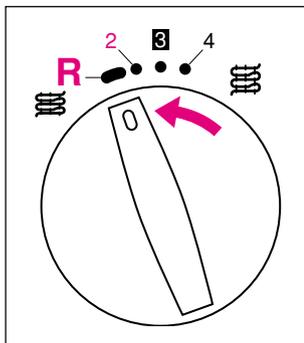
### 1. 巻きぬい用ステッチに切り替えます 2. 布カット幅を調節します 3. 送りピッチを調節します



- ① 前カバーを開けます。
- ② 移動ステッチタンクにからんでいる糸をうしろへ引き外します。
- ③ プーリーを回し上ルーパーを最下位置にします。
- ④ ステッチ切り離しレバーを押しステッチタンクを取り外します。



布カット幅調節つまみをRの位置に合わせます。

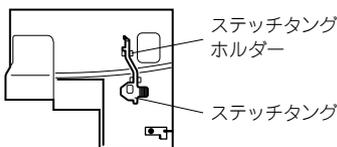


送りピッチ調節ダイヤルを<R~2>に合わせます。

## 4. 試しぬい

下記のように糸調子ダイヤルを合わせて試しぬいをしてください。

	巻きぬい	細ロック
針糸	4	4
上ルーパー糸	4	5
下ルーパー糸	5	4



※ 取り外したステッチタンクはぬいに必要なもので、前カバー裏のステッチタンクホルダーに大切に保管してください。

〈巻きぬい〉

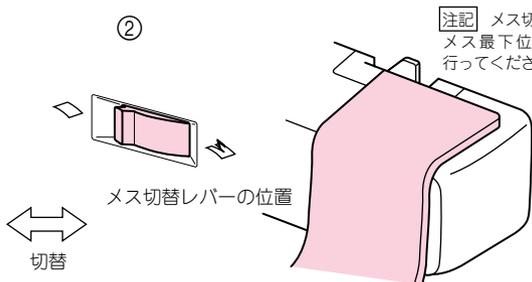
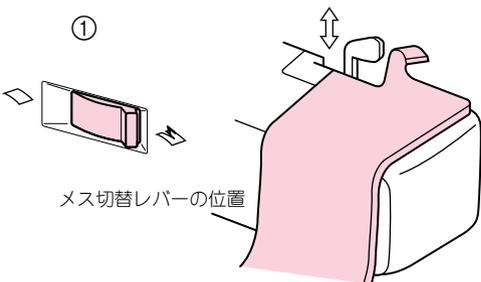
糸調子は下ルーパー糸(青)をしめて(糸調子ダイヤルの目盛5~7)糸(黄)のぬい目に寄せます。(ウーリー糸、飾り糸をご使用になると美しく仕上がります。)

〈細ロック〉

下ルーパー糸(青)と上ルーパー糸(赤)は布端でからみます。

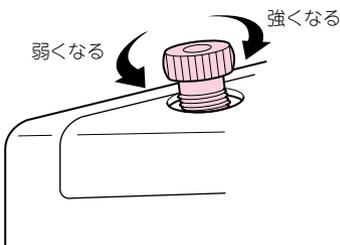
# 14 メスの切替

(メス切替レバーの操作で布地を切らずにぬう事ができます。)



**【注記】** メス切替はメス最下位置で行ってください。

# 15 布押え圧力の調節

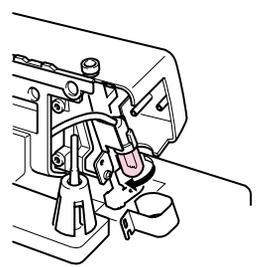
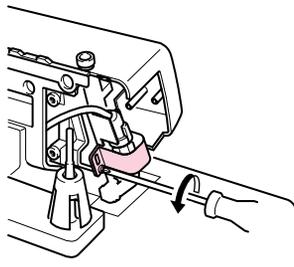
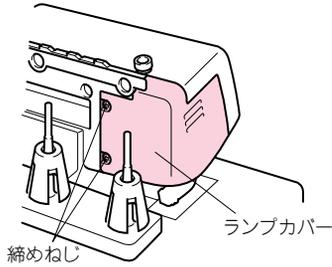


ほとんどの場合、布押え圧力を調節する必要はありませんが、調節される場合には次の要領で行います。



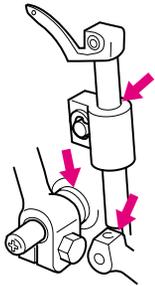
## 16 ランプの交換

- ① 締めねじをゆるめてランプカバーを ② ねじまわしでねじをゆるめます。 ③ ランプを反時計方向に回してはずし、新しいランプに取り替えます。

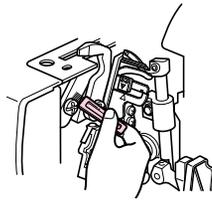


※ ランプ（100V, 12W）は最寄りのプラザー販売店でお買い求めください。

## 17 注油とお手入れ



- 1ヶ月に1, 2回ミシン油を矢印の箇所に1, 2滴注してください。（毎日数時間ご使用の場合は1週間に1回注してください。）
- ※ 油は市販のミシン油を購入してください。



- ミシン各部にたまったホコリは付属のミシンブラシでときどき掃除してください。

## 18 こんなときには

調子よくぬえない状態	原因	処 理
1. 布地を送らない	1. 布押えの圧力が弱すぎる場合	布押え調節ねじを右へ回し布押え圧力を強くします。
	2. 糸が必要以外のところからんでいる場合	〔回 糸の通し方〕 をご覧になり正しく通し直します。
2. ミシン針が折れる	1. ミシン針が曲がっていたり、針先がつぶれている場合	〔回 ミシン針の交換〕 をご覧になり正しいミシン針と取り替えます。
	2. ミシン針の取り付けが悪い場合	
	3. 布地を無理に引っ張った場合	ぬいながら布地を強く押さえたり引っ張らないでください。
3. 糸が切れる	1. 糸の通し方がまちがっている場合	〔回 糸の通し方〕 をご覧になり糸通しの順序に従って正しく糸を通し直します。
	2. 正しい糸通しの順序で糸を通していない場合	下または上ルーパー糸が切れた場合は針糸をミシン針からはずし切れた糸を通し直してください。
	3. 糸が必要以外のところからんでいる場合	糸かけなどに糸がからんでいないか確かめます。
	4. 糸調子が強すぎる場合	〔回 糸調子〕 をご覧ください。
	5. ミシン針の取り付けが悪い場合	ミシン針の取り付け方を確かめてください。
	6. 悪いミシン針を使用した場合	ミシン針はプラザー針HLx5をご使用ください。
4. 目飛びする	1. ミシン針が曲がっていたり、針先がつぶれている場合	〔回 ミシン針の交換〕 をご覧になり正しいミシン針と取り替えます。
	2. ミシン針の取り付けが不完全な場合	
	3. 悪いミシン針を使用した場合	ミシン針はプラザーミシン針HLx5をご使用ください。
	4. 糸の通し方がまちがっている場合	正しく通し直します。
	5. 布押えの圧力が弱すぎる場合	布押え調節ねじを右へ回し押さえ圧力を強くします。
5. ぬい目の調子が悪い	糸調子が完全でない場合	〔回 糸調子〕 をご覧ください。
6. ぬい物にしわがよる	1. 糸調子が強すぎる場合	薄物をぬうときは、できるだけ調子をゆるめます。
	2. 糸の通し方がまちがっていたり必要以外のところからんでいる場合	〔回 糸の通し方〕 をご覧になり正しく通します。
7. 布地の切れ味が悪い	1. 刃先が摩耗している場合	新しいメスと交換します。
	2. その他の場合	近くのプラザー販売店にご相談ください。

**プラザー工業株式会社**

名古屋瑞穂区苗代町15-1 〒467-8577  
TEL: (052) 824-2511 (代表)

L023701  
23801  
24601  
XB1038-001  
0101